



平成22年11月9日

報道関係各位

株式会社UMNファーマ

組換えインフルエンザHAワクチンの中国・香港・韓国・シンガポール・台湾  
における独占的事業化権を  
Protein Sciences Corporationから取得しました

株式会社UMNファーマ(本社:秋田県秋田市、社長:金指秀一)は、Baculovirus Expression Vector Systemを用いた細胞培養によって生産される組換えインフルエンザHAワクチンの中国・香港・韓国・シンガポール・台湾における独占的事業化権をProtein Sciences Corporation (PSC、本社:コネチカット州メリデン、Executive Chairman: Daniel D. Adams)から取得しました。

当社は、2006年8月にPSCから日本における独占的事業化権を取得し、H5N1型及び季節性インフルエンザワクチンの開発をアステラス製薬株式会社と進めておりますが、2013年には米国・日本に次ぐ世界第3位の医薬品市場となる中国やOECD加盟国の中でインフルエンザワクチン接種率が最も高い韓国においても事業展開が可能となりました。ライセンスアウト、合併会社設立、日本からの輸出など、各国のビジネス環境に最適の手段で事業展開を行ってまいります。

当社代表取締役社長 金指秀一は、「急速な経済発展が見込まれる一方、新型インフルエンザの脅威に最もさらされているこれらの国と地域において、公衆衛生に寄与する機会を得られることは、たいへん名誉なことであります。」と述べております。



## ■ 株式会社 UMN ファーマについて

株式会社 UMN ファーマは、Unmet Medical Needs（未充足医療ニーズ）<sup>(※)</sup>を満たす薬剤を開発する創薬ベンチャーとして平成 16 年に設立されました。大学・公的研究機関・ベンチャー企業の創薬シーズの中から、医薬品開発の豊富な経験とグローバルネットワークを活用し、大手製薬企業への導出・提携をみずえつつ、成功確率の高いものを的確に選び出し、スピーディーに開発を進めます。

組換えインフルエンザワクチンに関しては、本年 1 月に株式会社 IHI と共同でワクチン原薬製造を行う子会社を設立することで合意しました。また、4 月にはアピ株式会社と製剤に関する基本合意を、9 月にはアステラス製薬株式会社と共同開発・販売に関する提携に合意し、着実に事業化を進めております。7 月には、厚生労働省の助成対象企業に採択され、実験用生産施設の建設を行っております。

(※)Unmet Medical Needs とは、満足な治療法が存在しない治療領域において新規薬剤を待望する社会全体の期待を表す。

設 立：平成 16 年 4 月 20 日

代表取締役社長：金指 秀一

医師、医学博士、日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医

本 社：秋田県秋田市中通 3-1-9 ダイアビル秋田 901

横 浜 本 社：神奈川県横浜市港北区新横浜 2-15-16 NOF 新横浜ビル 4 階

ホ ー ム ペ ー ジ：<http://umnpharma.com/index.html>

— 本件に関するお問い合わせ先 —

株式会社 UMN ファーマ 取締役 経営企画部長

手嶋 剛

電話：045-624-8341

E-mail：[press@umnpharma.com](mailto:press@umnpharma.com)